



今年も残すところ、あとわずかとなりました。2024年を振り返って、自分らしく輝く毎日をお過ごすことができたでしょうか。2学期は、文化祭での人権作文発表や人権委員会の展示、校内人権・同和教育講演会など、人権に関する活動がたくさん行われました。活動を通して正しく学び、自分にできることは何かと考え、何かひとつでも行動することはできたでしょうか。2学期の学びを振り返りましょう。

① 文化祭 活動報告

11月7日(木)に文化祭が行われました。今年度も、全体会では2名の生徒が自分の思いを作文にして、堂々と発表してくれました。また『人権委員会コーナー』では、人権ポスターや人権標語、また人権クイズなど、人権に関する様々な作品を展示しました。今回は、夏に人権委員が交流会で学んだ『あいサポート運動』を特集し、障がいのある人の人権についても考えました。



【人権作文】

今年も自分の体験や想いを綴った作文がたくさんあり、大変勇気付けられました。文化祭で展示した作文も、たくさんの方が足をとめ、読んでくれていました。



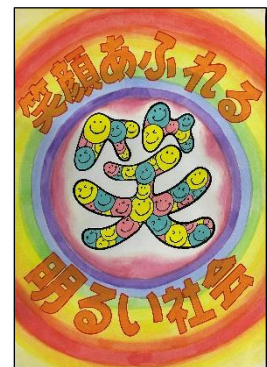
全体会発表作文

- 『もう二度と後悔しないために』
3年 猪川ももかさん
- 『自分のいけない癖』
1年 石川 愛桜さん



【人権ポスター】

『四国中央市人権のつどい』に出品した作品を紹介します。



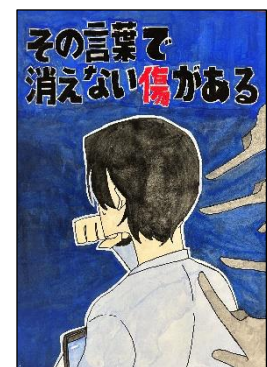
2年 今城 柚奈さん

【人権標語】

文化祭で展示した土居高生が作った人権標語の中から、3つの作品が選ばれ、市の『人権のつどい』に展示されました。



- 『一步立ち止まって少し考えてみて ネットの向こうにある命』
1年 三宅 珠里愛さん
- 『自分と違う 人と違う そんなこと関係ないと 認め合っていける人に』
2年 石水 玲珈さん
- 『自分の普通 それぞれ違う 一人一人の大切な価値観』
2年 三木 真緒さん



2年 高橋 一花さん



2年 近藤 誠人さん

